

## (Eng.ver is below) ～復活祭とコレラ Easter and Cholera cases～

Happy Easter! Heri ya siku ya Pasaka!

日本では日付が変わりましたが、イースターおめでとうございます！タンザニアは金曜からの4連休です。土曜夜のイースターの前夜ミサに参加したら、最初に 広い教会堂全体の照明が落とされて、暗闇の中、1年前のイースターのことを思い出されました。タンザニアに来た直後なのに、ネットカフェも語学学校も連休 なので、何もわからず不安だったっけ…なんて思っていたら、入場してくる神父様達が持っているろうそくの光で十字架が浮かび上がり、今年、タボラの人と一緒に御復活をお祝い出来ることに感謝しました。前夜ミサでは数十人の洗礼式と、二組の結婚式が行われ、夜中でしたが歓声と鐘の音が響いていました。一夜明けてイースターの日曜の朝は救世軍の教会に行き、礼拝の後、こちらも二組の結婚式に参列しました。この時期は救世軍の教会での結婚式が無料だそうで、式を 挙げられて喜ぶカップルが印象的でした。

このように人の集まりの多い連休中なのですが、タンザニア全土で流行っていたコレラが遂にタボラの町でも報告されました。私達の勤める病院でも、激しい 下痢のため救急外来で大量に輸液していた人が、後に診断されたそうです。政府から、輸液や経口保水液や抗生物質の支給と一緒に、「挨拶の握手を出来るだけ しないように」「人の集まるところでの接触や食事に注意」などの注意が回ってきましたが、この時期に、なかなか文化的に難しいよなあ…と思っています。仕事でも、最近はこちらの病院の救急外来が稼働し始めたので、下痢の患者さんに(最初は知らずに)接触する機会も増えています。問診や手袋や手洗いなど、リソースは限られているけど出来る限りの予防策をとろう、とスタッフと話しているところです。コレラのワクチン、こんなことなら(効果は短くても)再接種しておくんだったなあ…と思っています。あまり患者さんが

増えないことを祈りつつ、何かご経験からアドバイスのある方がいらしたら、ぜひご連絡ください。

